

創立90周年事業

本郷キャンパス大規模整備事業がスタート!

2024年に創立100周年を迎える文京学院では現在、様々な記念事業が進行しています。その代表は、2014年の創立90周年事業として行われる「本郷キャンパス再開発」。本郷通りを隔てて東西にある建物が、今後どのような変貌を遂げていくのかが注目されています。

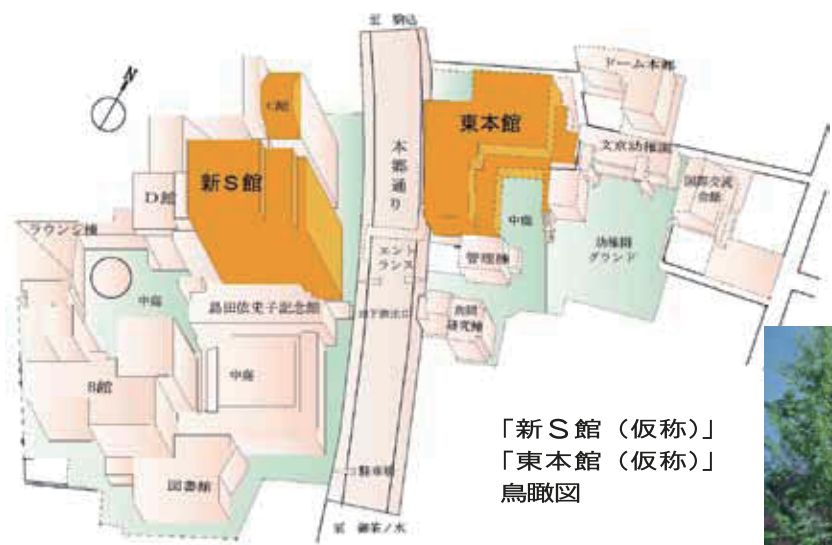
文京学院では、かねてより取得ができ、一気に事業の整備後の用地へ「東本館(仮)施設の耐震化、バリアフリー化、学生が集い学び易い環境を作り出す施設整備を模索していましたが、「土

地を売るなら、文京学院の教育のために」という隣接地権者のご厚意により用地

から7月末にかけて、第1期工事は昨年7月から(2012年8月~201



「新S館(仮称)」完成時イメージ図



「新S館(仮称)」「東本館(仮称)」鳥瞰図



「東本館(仮称)」完成時イメージ図

4年1月)に入り、今年の「S館」の解体作業を行います。11月まで本郷通りを隔てたまま。12月からは「新S館

(仮称・以下省略)の新築は鉄骨造3階建て、建築面積1,561㎡、延べ床面積3,587㎡、さらに「新S館」は地下1階・地上11階、建築面積975㎡、延べ床面積9,770㎡の高耐震で近代的な建物に生まれ変わります。

1月からは現在の園舎の他に、「東本館」1階内に体育館と保育室が整備され、より快適な保育環境が整います。また、「新S館」新築の間、一部の授業は「東本館」で行われますが、2014年4月からはそれぞれ新校舎に於いて授業がスタートします。

全工事後、「東本館」は「教育力日本一」を目指す文京学院は、ソフト面だけでなくハード面でも教職員一丸となって、園児・生徒・学生をサポートしていきます。快適な園舎や校舎に溢れる笑顔が、さらに創立100周年に向けての教職員の機動力となります。